

## 船舶事故調査報告書

平成22年12月2日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 根本 美 奈

事故種類	火災
発生日時	平成22年1月30日 15時40分ごろ
発生場所	宮崎県宮崎市戸崎鼻北東方沖 戸崎鼻灯台から真方位049° 900m付近 （概位 北緯31° 47.4′ 東経131° 29.6′）
事故調査の経過	平成22年3月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 シーラインV、3.85トン MZ3-20276（漁船登録番号）、個人所有 8.90m (Lr) × 2.38m × 0.83m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和55年2月
乗組員等に関する情報	船長 男性 67歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年11月21日 免許証交付日 平成21年7月8日 （平成27年7月4日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	操舵室、機関室、バッテリー室及び船尾上甲板部を焼損、3月に廃船処分
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、宮崎県宮崎市所在のドックでプロペラ軸の交換作業を終え、宮崎県宮崎市青島漁港に向け、戸崎鼻北東方沖を帰航中、平成22年1月30日15時40分ごろ、速力が上がらないため、船長が、主機のクラッチを中立として機関室を確認したところ、煙と火炎を認めた。 本船は、船長が消火を試みたが消火することができず、僚船に依頼して消火し、えい航されて帰航した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m
その他の事項	本船は、昭和55年2月に進水し、船長が、平成21年4月に中古で購入し、同年5月に電気工事業者に依頼して不要な配線類の取り外しを行ったが、残した配線類について、不良箇所の有無についての点検を行っていなかった。 バッテリー室から機関室に2本のバッテリー主配線が導かれていたが、機関室左舷船尾付近で短絡し、光沢のある溶着痕が認められた。

	本船は、機関室左舷船尾上部付近が最も激しく焼損していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、戸崎鼻北東方沖を帰航中、機関室左舷船尾付近で、バッテリー配線が短絡したため、発生した火花によって配線被覆材が着火して出火した可能性があると考えられる。 バッテリー配線は、配線被覆材が経年劣化していたうえ、船体振動等により擦れ合って短絡した可能性があると考えられる。 本船は、定期的に電気配線の点検が行われていれば、本事故の発生を回避することができた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が戸崎鼻北東方沖を帰航中、機関室左舷船尾付近で、バッテリー配線が短絡したため、発生した火花によって配線被覆材が着火して出火したことにより発生した可能性があると考えられる。	